

対象校No.

注4

学校コード F128310108712

注3

設置年度 令和 7年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

甲南女子大学 心理学部 心理学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正後大学設置基準適用)

学校法人甲南女子学園
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	文系学部事務課
職名・氏名	カチコウ シオタニ マサカ 課長・塩谷 将隆
電話番号	078-413-5394 (内線: 534)
(夜間)	078-413-5394 (内線: 534)
e-mail	bunkei@konan-wu.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合: 「〇〇大学」
・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

心理学部

<心理学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教育研究実施組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	32

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人甲南女子学園

(2) 大学名

甲南女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒658-0001

兵庫県神戸市東灘区森北町6丁目2番23号

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(スギヤマ タケヒロ) 杉山 健博 (令和5年7月就任)		
学長	(アキモト ノリコ) 秋元 典子 (令和4年4月就任)		
学部長	(ハタケヤマ ミホ) 畠山 美穂 (令和7年4月就任)		
学科長等	(ウヅキ ケンジ) 卯月 研次 (令和7年4月就任)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
心理学部 心理学科 学士(心理学)	文学関係	4年	90人	2年次 0人 3年次 人 4年次 人	360人	-	基礎となる学部・学科 人間科学部心理学科

- (注) 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	90人 () []	0人 () []	春季入学以外の入学時期と入学定員内訳	1.25倍	1.25倍	基礎となる学部 人間科学部心理学科令和7年度から学生募集停止
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	705 () []	- () []				
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	612 () []	- () []				
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	253 () []	- () []				
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	113 () []	- () []				
入学定員超過率 B/A	-		-								1.25					

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 - ・()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。）
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	113	0	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[0]	[0]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2 年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3 年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4 年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	113		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	113 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{113} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<心理学部 心理学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	基幹教員等の配置							科目は通年・外枠・少人数の教員手帳		
				必	選	専	兼	講	助	手			
全学共通科目	基礎科目	大学を知る	1前	2								1	
	小計 (1科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	
	基礎スキル科目	アカデミックスキルズ	1前・後	2									3
		グループ討論トレーニング	1-2・3前・後	2									1
		思考力トレーニング	2-3前・後	2									1
		日本語リテラシーⅠ	1-2・3前	2									1
		日本語リテラシーⅡ	1-2・3後	2									1
		小計 (5科目)	-	0	10	0	0	0	0	0	0	0	7
	リーダーシップ科目	リーダーシップ入門	1-2・3前	2									1
		リーダーシップ基礎	1-2・3後	2									1
		他者のリーダーシップ開発Ⅰ	2-3前	2									1
		他者のリーダーシップ開発Ⅱ	2-3後	2									1
		他者のリーダーシップ開発Ⅲ	3-4前	1									1
		他者のリーダーシップ開発Ⅳ	3-4後	1									1
		アクションラーニング演習	2-3前	1									1
	小計 (7科目)	-	0	11	0	0	0	0	0	0	0	1	
	教養科目	人文科学科目	哲学入門	1-2・3後	2								1
		倫理学入門	1-2・3後	2									1
		宗教学入門	1-2・3後	2									1
		日本古典文学入門	1-2・3前	2									1
日本近代文学入門		1-2・3後	2									1	
日本文化史		1-2・3前・後	2									1	
言語学入門		1-2・3前	2									1	
社会言語学入門		1-2・3後	2									1	
人間関係論		1-2・3前	2									1	
美術史概説		2-3前・後	2									1	
民俗学概説		2-3前・後	2									1	
考古学概説		2-3前・後	2									1	
日本史概説		2-3前	2									1	
外国史概説		3-4前	2									1	
小計 (14科目)	-	0	28	0	0	0	0	0	0	0	13		
社会科学科目	日本国憲法	1-2・3後	2									1	
	法学概説	1-2・3前	2									1	
	政治学概説	1-2・3前	2									1	
	経済学概説	1-2・3前	2									1	
	社会学概説	1-2・3前	2									1	
	メディア表現入門	1-2・3前	2									1	
	人権教育	1-2・3前・後	2									1	
	ボランティア論	1-2・3前	2									1	
	文化人類学入門	1-2・3後	2									1	
	子ども・子育て入門	2-3後	2									1	
	AIとライフデザイン	2-3後	2									1	
	人文地理学	2-3後	2									1	
小計 (12科目)	-	0	24	0	0	0	0	0	0	0	10		
自然科学科目	生物学の基礎	1-2・3前・後	2									1	
	化学の基礎	1-2・3前	2									1	
	生化学の基礎	1-2・3後	2									1	
	物理学の基礎	1-2・3後	2									1	
	数学の基礎	1-2・3前	2									1	
	統計学の基礎	1-2・3後	2									1	
	生態学入門	1-2・3前	2									1	
	生命科学入門	1-2・3前・後	2									1	
	自然環境学入門	1-2・3後	2									1	
	地球環境論	2-3前	2									1	
	自然地理学	2-3後	2									1	
小計 (11科目)	-	0	22	0	0	0	0	0	0	0	7		
健康科学科目	看護学の世界	1-2・3後	2									1	
	女性の生涯と健康	1-2・3後	2									1	
	保健概説	1-2・3前・後	2									1	
	リハビリテーション入門	1-2・3前	2									1	
	健康に生きる	1-2・3後	2									1	
	女性と運動	1-2・3後	2									1	
	女性のための栄養学	1-2・3前	2									1	
小計 (7科目)	-	0	14	0	0	0	0	0	0	0	7		
総合科目	ジェンダー論入門	1-2・3後	2									1	
	女性と家族	1-2・3前	2									1	
	女子学	1-2・3前	2									1	
	女性の歴史	1-2・3前	2									1	
	女性とコミュニケーション	1-2・3前	2									1	
	国際社会とジェンダー	2-3後	2									1	
	女性と社会・仕事	2-3後	2									1	
	女性と身体	2-3後	2									1	
	女性のための法律	2-3後	2									1	
小計 (9科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	0	0	7		

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	基幹教員等の配置							科目は通年・外枠・少人数の教員手帳		
				必	選	専	兼	講	助	手			
全学共通科目	基礎科目	大学を知る	1前	2								1	
	小計 (1科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	
	基礎スキル科目	アカデミックスキルズ	1前・後	2									3
		グループ討論トレーニング	1-2・3前・後	2									1
		思考力トレーニング	2-3前・後	2									1
		日本語リテラシーⅠ	1-2・3前	2									1
		日本語リテラシーⅡ	1-2・3後	2									1
		小計 (5科目)	-	0	12	0	0	0	0	0	0	0	7
	リーダーシップ科目	リーダーシップ入門	1-2・3前	2									1
		リーダーシップ基礎	1-2・3後	2									1
		他者のリーダーシップ開発Ⅰ	2-3前	2									1
		他者のリーダーシップ開発Ⅱ	2-3後	2									1
		他者のリーダーシップ開発Ⅲ	3-4前	1									1
		他者のリーダーシップ開発Ⅳ	3-4後	1									1
		アクションラーニング演習	2-3前	1									1
	小計 (7科目)	-	0	11	0	0	0	0	0	0	0	1	
	教養科目	人文科学科目	哲学入門	1-2・3後	2								1
		倫理学入門	1-2・3後	2									1
		宗教学入門	1-2・3後	2									1
		日本古典文学入門	1-2・3前	2									1
日本近代文学入門		1-2・3後	2									1	
日本文化史		1-2・3前・後	2									1	
言語学入門		1-2・3前	2									1	
社会言語学入門		1-2・3後	2									1	
人間関係論		1-2・3前	2									1	
美術史概説		2-3前・後	2									1	
民俗学概説		2-3前・後	2									1	
考古学概説		2-3前・後	2									1	
日本史概説		2-3前	2									1	
外国史概説		3-4前	2									1	
小計 (14科目)	-	0	28	0	0	0	0	0	0	0	13		
社会科学科目	日本国憲法	1-2・3後	2									1	
	法学概説	1-2・3前	2									1	
	政治学概説	1-2・3前	2									1	
	経済学概説	1-2・3前	2									1	
	社会学概説	1-2・3前	2									1	
	メディア表現入門	1-2・3前	2									1	
	人権教育	1-2・3前・後	2									1	
	ボランティア論	1-2・3前	2									1	
	文化人類学入門	1-2・3後	2									1	
	子ども・子育て入門	2-3後	2									1	
	AIとライフデザイン	2-3後	2									1	
	人文地理学	2-3後	2									1	
小計 (12科目)	-	0	24	0	0	0	0	0	0	0	10		
自然科学科目	生物学の基礎	1-2・3前・後	2									1	
	化学の基礎	1-2・3前	2									1	
	生化学の基礎	1-2・3後	2									1	
	物理学の基礎	1-2・3後	2									1	
	数学の基礎	1-2・3前	2									1	
	統計学の基礎	1-2・3後	2									1	
	生態学入門	1-2・3前	2									1	
	生命科学入門	1-2・3前・後	2									1	
	自然環境学入門	1-2・3後	2									1	
	地球環境論	2-3前	2									1	
	自然地理学	2-3後	2									1	
小計 (11科目)	-	0	22	0	0	0	0	0	0	0	7		
健康科学科目	看護学の世界	1-2・3後	2									1	
	女性の生涯と健康	1-2・3後	2									1	
	保健概説	1-2・3前・後	2									1	
	リハビリテーション入門	1-2・3前	2									1	
	健康に生きる	1-2・3後	2									1	
	女性と運動	1-2・3後	2									1	
	女性のための栄養学	1-2・3前	2									1	
小計 (7科目)	-	0	14	0	0	0	0	0	0	0	7		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		基幹教員等の配置							科目以外 の教員 の配置		
			主 要 授 業 科 目	必 修 科 目	日 教 授	日 教 授	日 教 授	日 教 授	日 教 授	日 教 授	日 教 授			
全学共通科目	国際理解科目	ヨーロッパの文化	1-2-3後	2									1	
		アジアの文化	1-2-3後	2									1	
		現代ヨーロッパ事情	1-2-3後	2									1	
		現代アジア事情	1-2-3後	2									1	
		グローバル社会論	1-2-3後	2									1	
		海外学習マネジメント	1-2-3前	2									1	
		海外演習A	1-2-3前・後	1									1	
		海外演習B	1-2-3前・後	2									1	
		海外演習C	1-2-3前・後	3									1	
		海外演習D	1-2-3前・後	3									1	
		海外演習E	1-2-3前・後	4									1	
		海外演習F	1-2-3前・後	4									1	
		小計(12科目)	-	-	0	29	0	0	0	0	0	0	0	7
		芸術科目	造形芸術(絵画)	1-2-3前	2									1
			造形芸術(彫刻)	1-2-3後	2									1
			音楽の基礎	1-2-3前	2									1
			合唱音楽	1-2-3後	2									1
	音楽鑑賞A		1-2-3前	2									1	
	音楽鑑賞B		1-2-3後	2									1	
	オルガン音楽(構造)		1-2-3前	2									1	
	オルガン音楽(演奏)		1-2-3後	2									1	
	オルガン音楽演習		1-2-3前	2									1	
	日本の文化(茶道)		2-3前	2									1	
	日本の文化(茶道)		2-3後	2									1	
	小計(11科目)	-	-	0	22	0	0	0	0	0	0	0	5	
	キャリア支援科目	ホスピタリティ入門	1-2-3前・後	2									1	
		キャリアデザインI	1-2-3前・後	2									1	
		キャリアデザインII	2-3前・後	2									1	
		キャリアのための日本語	1-2-3後	2									2	
		キャリアのための数学(ベーシック)	1-2-3前・後	2									1	
		キャリアのための数学(スタンダード)	1-2-3前・後	2									1	
	小計(7科目)	-	-	0	14	0	0	0	0	0	0	0	7	
	言語・情報科目	言語科目	英語会話I	1前	2									3
英語会話II			1後	2									3	
英語I			1前	2									4	
英語II			1後	2									4	
韓国語		韓国語I	1-2-3前	2									2	
		韓国語II	1-2-3後	2									2	
		中国語I	1-2-3前	2									2	
		中国語II	1-2-3後	2									2	
		マレー・インドネシア語I	1-2-3前	2									1	
		マレー・インドネシア語II	1-2-3後	2									1	
小計(10科目)		-	-	8	12	0	0	0	0	0	0	0	13	
情報科目		情報とコンピュータI	1前	1									3	
		情報とコンピュータII	1後	1									3	
		コンピュータと社会	2-3後	2									1	
	情報メディア実習	2-3前	1									1		
	ビジネス情報実習	2-3前	1									1		
小計(5科目)	-	-	2	4	0	0	0	0	0	0	0	6		
情報後援科目	手話コミュニケーション	1-2-3前	2									2		
	ノートテイクの方法	1-2-3前	2									1		
小計(2科目)	-	-	0	4	0	0	0	0	0	0	0	3		
健康・スポーツ科目	生涯スポーツの科学	2-3前・後	2									1		
	トレーニングの科学	2-3前	2									1		
	健康・スポーツ科学実習A	1-2-3前	1									2		
	健康・スポーツ科学実習B	1-2-3後	1									2		
	健康・スポーツ科学実習C	1-2-3前	1									1		
	健康・スポーツ科学実習D	1-2-3後	1									2		
小計(6科目)	-	-	0	8	0	0	0	0	0	0	0	4		
全学共有科目 合計(119科目)	-	-	10	222	0	0	0	0	0	0	0	91		
専攻科目	必修科目	心理学概論	1前	○	2			1					2	
		心理学統計法(基礎)	1後	○	2			1	1				4	
		心理学実験	1後	○	2			1		1			4	
		心理学実習	3前	○	2					1			1	
		心理学研究法	3前	○	2								1	
		心理調査概論	3後	○	2					1			1	
		心理学基礎セミナーI	1前	○	2			2	4	1			1	
		心理学基礎セミナーII	1後	○	2			2	4	1			1	
		心理学応用セミナーI	2前	○	2			1	2	1			1	
		心理学応用セミナーII	2後	○	2			1	3	1			1	
		心理学プロジェクト実践I	3前	○	2			4	3	1			1	
		心理学プロジェクト実践II	3後	○	2			4	3	1			1	
		心理学プロジェクト実践III	4前	○	4			4	3	1			1	
心理学プロジェクト実践IV	4後	○	4			4	3	1			1			
小計(13科目)	-	-	30	0	4	5	1				6			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		基幹教員等の配置							科目以外 の教員 の配置		
			主 要 授 業 科 目	必 修 科 目	日 教 授	日 教 授	日 教 授	日 教 授	日 教 授	日 教 授	日 教 授			
全学共通科目	国際理解科目	ヨーロッパの文化	1-2-3後	2									1	
		アジアの文化	1-2-3後	2									1	
		現代ヨーロッパ事情	1-2-3後	2									1	
		現代アジア事情	1-2-3後	2									1	
		グローバル社会論	1-2-3後	2									1	
		海外学習マネジメント	1-2-3前	2									1	
		海外演習A	1-2-3前・後	1									1	
		海外演習B	1-2-3前・後	2									1	
		海外演習C	1-2-3前・後	3									1	
		海外演習D	1-2-3前・後	3									1	
		海外演習E	1-2-3前・後	4									1	
		海外演習F	1-2-3前・後	4									1	
		小計(11科目)	-	-	0	27	0	0	0	0	0	0	0	6
		芸術科目	造形芸術(絵画)	1-2-3前	2									1
			造形芸術(彫刻)	1-2-3後	2									1
			音楽の基礎	1-2-3前	2									1
			合唱音楽	1-2-3後	2									1
	音楽鑑賞A		1-2-3前	2									1	
	音楽鑑賞B		1-2-3後	2									1	
	オルガン音楽(構造)		1-2-3前	2									1	
	オルガン音楽(演奏)		1-2-3後	2									1	
	オルガン音楽演習		1-2-3前	2									1	
	日本の文化(茶道)		2-3前	2									1	
	日本の文化(茶道)		2-3後	2									1	
	小計(7科目)	-	-	0	14	0	0	0	0	0	0	0	4	
	キャリア支援科目	ホスピタリティ入門	1-2-3前・後	2									1	
		キャリアデザインI	1-2-3前・後	2									1	
		キャリアデザインII	2-3前・後	2									1	
		キャリアのための日本語	1-2-3後	2									2	
		キャリアのための数学(ベーシック)	1-2-3前・後	2									1	
		キャリアのための数学(スタンダード)	1-2-3前・後	2									1	
	小計(7科目)	-	-	0	14	0	0	0	0	0	0	0	7	
	言語・情報科目	言語科目	英語会話I	1前	2									3
英語会話II			1後	2									3	
英語I			1前	2									4	
英語II			1後	2									4	
韓国語		韓国語I	1-2-3前	2									2	
		韓国語II	1-2-3後	2									2	
		中国語I	1-2-3前	2									2	
		中国語II	1-2-3後	2									2	
		マレー・インドネシア語I	1-2-3前	2									1	
		マレー・インドネシア語II	1-2-3後	2									1	
小計(8科目)		-	-	4	12	0	0	0	0	0	0	0	10	
情報科目		情報とコンピュータI	1前	1									3	
		情報とコンピュータII	1後	1									3	
		コンピュータと社会	2-3後	2									1	
	情報メディア実習	2-3前	1									1		
	ビジネス情報実習	2-3前	1									1		
小計(5科目)	-	-	2	4	0	0	0	0	0	0	0	6		
情報後援科目	手話コミュニケーション	1-2-3前	2									2		
	ノートテイクの方法	1-2-3前	2									1		
小計(2科目)	-	-	0	4	0	0	0	0	0	0	0	3		
健康・スポーツ科目	生涯スポーツの科学	2-3前・後	2									1		
	トレーニングの科学	2-3前	2									1		
	健康・スポーツ科学実習A	1-2-3前	1									2		
	健康・スポーツ科学実習B	1-2-3後	1									2		
	健康・スポーツ科学実習C	1-2-3前	1									1		
	健康・スポーツ科学実習D	1-2-3後	1									2		
小計(6科目)	-	-	0	8	0	0	0	0	0	0	0	4		
全学共有科目 合計(111科目)	-	-	6	210	0	0	0	0	0	0	0	86		
専攻科目	必修科目	心理学概												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			基幹教員等の配置					専攻以外 の教員 の配置
			必修	選択	自由	専任	非常勤	准	助	専	
専攻科目	心理学統計法(応用)	2-3前		2			1				2
	心理学統計法(発展)	3-4前		2			1				2
	小計(2科目)	-	0	4	0	0	1	0	0	0	4
	公認心理師の職業	1-2-3前		2		3	2				2
	臨床心理学概論	1-2-3後		2		1					
	知覚・認知心理学	2-3後		2		1					
	教育・学校心理学	2-3前		2		1					
	学習・言語心理学	2-3後		2			1				
	障害者・障害児心理学	2-3後		2			1				
	健康・医療心理学	2-3後		2			1				
	関係行政論	2-3前		2							1
	心理学的支援法	3-4前		2							1
	心理的アセスメント	3-4後		2		1	1				
	神経・生理心理学	3-4前		2							1
	司法・犯罪心理学	3-4前		2		1					
	精神疾患とその治療	3-4前		2							1
	人体の構造と機能及び疾病	3-4後		2							1
	心理学のための英語	3-4後		2			1				
	心理演習	2-3前		2		2	3				1
	心理実習Ⅰ	2-3後		1		2	2				2
	心理実習Ⅱ	3-4前		1		4	2				3
	心理実習Ⅲ	3-4後		1		4	2				3
	小計(19科目)	-	0	35	0	5	5	1	0	0	6
	キャリア・マネジメント入門	2-3前		2		1					
	社会・集団・家族心理学	2-3前		2							1
	消費者心理と広告	2-3後		2							1
産業・組織心理学	2-3前		2							1	
心理プログラミング・AI演習	3-4後		2		1	1					
グループ・ダイナミクス	3-4前		2		1						
小計(6科目)	-	0	12	0	1	1	1	0	0	3	
女性のためのリスクマネジメント	1-2-3前		2							1	
暮らしのなかの心理学	1-2-3後		2		1	2					
感情・人格心理学	2-3前		2		1						
発達心理学	2-3前		2		1						
コミュニケーション実践	2-3後		2		1					1	
福祉心理学	3-4前		2							1	
子ども理解の臨床心理学	3-4後		2							1	
社会のなかの認知心理学	3-4前		2		1						
動物の心理学	3-4後		2			1					
小計(9科目)	-	0	18	0	4	3	1	0	0	3	
専攻科目 合計(49科目)	-	30	69	0	5	5	1	0	0	20	
資格科目	図書館概論	2前		2						1	
	図書館制度・経営論	3前		2						1	
	図書館情報技術論	3後		2						1	
	図書館サービス概論	3後		2						1	
	情報サービス論	3前		2						1	
	児童サービス論	3前		2						1	
	情報サービス演習Ⅰ	3前		1						1	
	情報サービス演習Ⅱ	3前		1						1	
	図書館情報資源概論	2後		2						1	
	情報資源組織論	3前		2						1	
	情報資源組織演習Ⅰ	3後		1						1	
	情報資源組織演習Ⅱ	3前		1						1	
	図書館基礎特論	2後		2						1	
	図書館サービス特論	3前		2						1	
	図書館情報資源特論	3後		2						1	
	図書・図書館史	2前		2						1	
	図書館施設論	3後		2						1	
	博物館概論	2前		2						1	
	博物館資料論	2後		2						1	
	博物館教育論	2前		2						1	
	博物館実習	4通		3						2	
	博物館情報・メディア論	2後		2						1	
	博物館経営論	3前		2						1	
	博物館資料保存論	3後		2						1	
	博物館展示論	3後		2						1	
	小計(25科目)	-	0	47	0	0	0	0	0	0	8
レクリエーション実習	3-4通		1							1	
小計(1科目)	-	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
資格科目 合計(26科目)	-	0	48	0	0	0	0	0	0	9	
合計(194科目)	-	40	339	0	5	4	1	0	0	118	
卒業要件及び履修方法											
全学共通科目30単位以上(基礎科目2単位以上、教養科目10単位以上、総合科目8単位以上、言語科目8単位以上、情報科目2単位以上)、自学科専攻科目から62単位以上(必修科目30単位、選択必修科目から32単位以上)、自由選択科目(全ての科目区分から自由選択)32単位以上の合計124単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限:48単位(年間))											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			基幹教員等の配置					専攻以外 の教員 の配置
			必修	選択	自由	専任	非常勤	准	助	専	
専攻科目	心理学統計法(応用)	2-3前		2			1				2
	心理学統計法(発展)	3-4前		2			1				2
	小計(2科目)	-	0	4	0	0	1	0	0	0	4
	公認心理師の職業	1-2-3前		2		3	2				2
	臨床心理学概論	1-2-3後		2		1					
	知覚・認知心理学	2-3後		2		1					
	教育・学校心理学	2-3前		2		1					
	学習・言語心理学	2-3後		2			1				
	障害者・障害児心理学	2-3後		2			1				
	健康・医療心理学	2-3後		2			1				
	関係行政論	2-3前		2							1
	心理学的支援法	3-4前		2			1				
	心理的アセスメント	3-4後		2		1	1				
	神経・生理心理学	3-4前		2							1
	司法・犯罪心理学	3-4前		2		1					
	精神疾患とその治療	3-4前		2							1
	人体の構造と機能及び疾病	3-4後		2							1
	心理学のための英語	3-4後		2			1				
	心理演習	2-3前		2		2	3				1
	心理実習Ⅰ	2-3後		1		2	2				2
	心理実習Ⅱ	3-4前		1		4	2				3
	心理実習Ⅲ	3-4後		1		4	2				3
	小計(19科目)	-	0	35	0	5	5	1	0	0	6
	キャリア・マネジメント入門	2-3前		2		1					
	社会・集団・家族心理学	2-3前		2							1
	消費者心理と広告	2-3後		2							1
産業・組織心理学	2-3前		2							1	
心理プログラミング・AI演習	3-4後		2		1	1					
グループ・ダイナミクス	3-4前		2		1						
小計(6科目)	-	0	12	0	1	1	1	0	0	3	
女性のためのリスクマネジメント	1-2-3前		2			1					
暮らしのなかの心理学	1-2-3後		2		1	2					
感情・人格心理学	2-3前		2		1						
発達心理学	2-3前		2		1						
コミュニケーション実践	2-3後		2		1	1					
福祉心理学	3-4前		2							1	
子ども理解の臨床心理学	3-4後		2							1	
社会のなかの認知心理学	3-4前		2		1						
動物の心理学	3-4後		2			1					
小計(9科目)	-	0	18	0	4	4	1	0	0	2	
専攻科目 合計(49科目)	-	30	69	0	5	5	1	0	0	20	
資格科目	図書館概論	2前		2						1	
	図書館制度・経営論	3前		2						1	
	図書館情報技術論	3後		2						1	
	図書館サービス概論	3後		2						1	
	情報サービス論	3前		2						1	
	児童サービス論	3前		2						1	
	情報サービス演習Ⅰ	3前		1						1	
	情報サービス演習Ⅱ	3前		1						1	
	図書館情報資源概論	2後		2						1	
	情報資源組織論	3前		2						1	
	情報資源組織演習Ⅰ	3後		1						1	
	情報資源組織演習Ⅱ	3前		1						1	
	図書館基礎特論	2後		2						1	
	図書館サービス特論	3前		2						1	
	図書館情報資源特論	3後		2						1	
	図書・図書館史	2前		2						1	
	図書館施設論	3後		2						1	
	博物館概論	2前		2						1	
	博物館資料論	2後		2						1	
	博物館教育論	2前		2						1	
	博物館実習	4通		3						2	
	博物館情報・メディア論	2後		2						1	
	博物館経営論	3前		2						1	
	博物館資料保存論	3後		2						1	
	博物館展示論	3後		2						1	
	小計(25科目)	-	0	47	0	0	0	0	0	0	8
レクリエーション実習	3-4通		1							1	
小計(1科目)	-	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
資格科目 合計(26科目)	-	0	48	0	0	0	0	0	0	9	
合計(196科目)	-	36	327	0	5	5	1	0	0	110	
卒業要件及び履修方法											
全学共通科目28単位以上(基礎科目4単位以上、教養科目10単位以上、総合科目8単位以上、 言語科目4単位以上 、情報科目2単位以上)、自学科専攻科目から62単位以上(必修科目30単位、選択必修科目から32単位以上)、自由選択科目(全ての科目区分から自由選択)32単位以上の合計124単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限:48単位(年間))											

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
- ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字**としてください。
- ・ なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時の」主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を**赤字の赤字**としてください。
(専任教員から基幹教員に変更したことをもって赤字の赤字とする必要はありません。)
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となつた科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
- ・ (2つの表が1ページに表されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には【臨】、「連携実務実習」による授業科目には【連】を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧がキヤラムを並行して実施している場合は、旧がキヤラムについても記載してください。
その場合は、新がキヤラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例:記載欄)【認可時又は届出時】→【令和7年度(新)】→【令和6年度(新)】→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度(旧)】→【令和6年度(旧)】

(1) ①-②授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

【全学共通科目】

- ・ カリキュラム改正のため、「女子学」を女性とジェンダー科目から移動。
- ・ カリキュラム改正に伴い「音楽鑑賞A」の名称を「音楽鑑賞」に変更し、配当年次を「1-2-3-前」から「1-2-3前後」に変更。
- ・ カリキュラム改正のため、「英語会話Ⅰ」と「英語Ⅰ」を統合し、名称を「English CommunicationⅠ」に変更。配当年次を「1-前」とし、教員を「兼任・兼任5」配置。
- ・ カリキュラム改正のため、「英語会話Ⅱ」と「英語Ⅱ」を統合し、名称を「English CommunicationⅡ」に変更。配当年次を「1-後」とし、教員を「兼任・兼任5」配置。

【専攻科目】

- ・ 学生の履修状況を鑑み「心理学実験」の基幹教員配置を「教授1、講師1」から「准教授1、講師1」に変更。
- ・ 教育内容充実のため「心理学基礎セミナーⅠ」の基幹教員配置を「教授2、准教授4、講師1」から「教授3、准教授4、講師1」に変更。
- ・ 教育内容充実のため「心理学基礎セミナーⅡ」の基幹教員配置を「教授2、准教授4、講師1」から「教授3、准教授4、講師1」に変更。
- ・ 担当教員が基幹教員へ変更のため「心理学的支援法」の教員配置を「兼任・兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・ 担当教員が基幹教員へ変更のため「女性のためのリスキュメント」の教員配置を「兼任・兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・ 担当教員が基幹教員へ変更のため「コミュニケーション実践」の教員配置を「教授1、兼任・兼任1」から「教授1、准教授1」に変更。

(注)・ 2(1)①-① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、

- 主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡潔書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合(例:「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更)や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合(例:「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更)については、記入しないでください。
- ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧がキヤラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
13 科目	181 科目	0 科目	194 科目	13 科目 []	173 科目 [Δ8]	0 科目 []	186 科目 [Δ8]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	大学を知る	2	1前	一般	選択	全学共通科目改正のため。代替措置有。
2	海外学習マネジメント	2	1・2・3前	一般	選択	全学共通科目改正のため。代替措置有。
3	音楽鑑賞B	2	1・2・3後	一般	選択	全学共通科目改正のため。代替措置有。
4	オルガン音楽(構造)	2	1・2・3前	一般	選択	全学共通科目改正のため。代替措置有。
5	オルガン音楽(器楽)	2	1・2・3後	一般	選択	全学共通科目改正のため。代替措置有。
6	オルガン音楽演習	2	1・2・3前	一般	選択	全学共通科目改正のため。代替措置有。

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学全体の全学共通科目カリキュラム改正を行ったことによる廃止科目であり、教育内容や教育効果について検討した結果であるため影響は及ばない。学生に対しては、学生要覧を配布し周知している。

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{6}{194} = \boxed{3.09}\%$$

数式が入力されています。

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	算入対象変更等(6)			
	校舎敷地	77,760㎡	0㎡	0㎡	77,760㎡				
	そ の 他	9,361㎡ 9,250㎡	0㎡	0㎡	9,361㎡ 9,250㎡				
	合 計	87,121㎡ 87,010㎡	0㎡	0㎡	87,121㎡ 87,010㎡				
(2) 校 舎	専 用	54,877㎡	0㎡	0㎡	54,877㎡				
	(54,877㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(54,877㎡)					
(3) 教室・教員研究室	教 室		187室 190室	教員研究室	160室 161室	施設改修等(6)			
(4) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		機械・器具 標 本 点 点	学部等単位での特定不 能なため、大学全体の 数 図書・器具等の購入内 容の変更等(6)		
		冊	電子図書 〔うち外国書〕	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				
	心理学部	526,934 [178,141] (510,954[178,239]) (508,411[176,706])	1,203 [387] (1,393[384]) (1,161[384])	34,310 [27,030] (33,295[26,906]) (33,104[26,812])	28,411 [25,994] (27,513[25,797]) (27,412[25,785])	30,542 (29,493) (29,644)		176 (169) (171)	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	[] ([])	[] ()		[] ()	
(5) スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂		厚生補導施設				
	1,935㎡		5,403㎡		2,149㎡				
(6) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費：購入内容 の変更等(6) 設備購入費：購入内容 の変更等(6)
		教員1人当たり研究費等	400千円	400千円	図書購入費	3301千円 4406千円	2950千円	4300千円	
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	17536千円 17331千円	4592千円	18367千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1360千円	1150千円	1150千円	1150千円	-千円	-千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入等							

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。

(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び

「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。

・国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学等の名称	甲南女子大学					収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	2		
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
文学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	兵庫県神戸市東灘区森北町6丁目2番23号	
日本語日本文化学科	4	80	—	320	学士(日本語日本文化)	0.86	—	—	昭和39年度	同上	
メディア表現学科	4	70	—	280	学士(メディア表現学)	1.15	—	—	昭和39年度	同上	
英語文化学科	4	—	—	—	学士(英語文化)	—	—	—	昭和39年度	同上	令和元年より学生募集停止
多文化コミュニケーション学科	4	—	—	—	学士(学術)	—	—	—	平成13年度	同上	令和元年より学生募集停止
国際学部						0.78	—				
国際英語学科	4	110	—	440	学士(国際英語)	0.62	—	—	令和2年度	同上	
多文化コミュニケーション学科	4	80	—	320	学士(学術)	1.00	—	—	令和2年度	同上	
人間科学部						0.88	—				
心理学科	4	—	—	—	学士(心理学)	—	—	—	平成13年度	同上	令和6年より学生募集停止
総合子ども学科	4	150	—	600	学士(教育学)	0.75	—	—	平成18年度	同上	
文化社会学科	4	80	—	320	学士(社会学)	0.97	—	—	平成13年度	同上	
生活環境学科	4	80	—	320	学士(生活環境学)	1.02	—	—	平成13年度	同上	
心理学部						1.25	—				
心理学科	4	90	—	90	学士(心理学)	1.25	—	—	令和7年度	同上	令和7年開設
看護リハビリテーション学部						0.95	—				
看護学科	4	100	—	400	学士(看護学)	1.08	—	—	平成19年度	同上	
理学療法学科	4	60	—	240	学士(理学療法学)	0.73	—	—	平成19年度	同上	
医療栄養学部						1.05	—				
医療栄養学科	4	80	—	320	学士(医療栄養学)	1.05	—	—	平成30年度	同上	
大学全体	4	980	—	3650	—	—	—	—	—	—	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定してください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定してください。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとに、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合を含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学部等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<心理学部 心理学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
基 (主 専)	教授	卯月 研次 (56) <令和8年4月> 修士(心理学)	心理学応用セミナーⅠ 教育・学校心理学 心理実習Ⅰ 心理実習Ⅱ 心理実習Ⅲ コミュニケーション実践
		垂澤 由美子 (50) <令和7年4月> 博士(心理学)	心理学統計法(基礎) 心理学実験 心理学基礎セミナーⅠ 心理学基礎セミナーⅡ 心理学応用セミナーⅡ 心理学プロジェクト実践Ⅰ 心理学プロジェクト実践Ⅱ 心理学プロジェクト実践Ⅲ 心理学プロジェクト実践Ⅳ キャリア・マネジメント入門 グループ・ダイナミクス
基 (主 専)	教授	晶山 美穂 (52) <令和7年4月> 博士(心理学)	心理学プロジェクト実践Ⅰ 心理学プロジェクト実践Ⅱ 心理学プロジェクト実践Ⅲ 心理学プロジェクト実践Ⅳ 公認心理師の職責 臨床心理学概論 心理演習 心理実習Ⅰ 心理実習Ⅱ 心理実習Ⅲ 発達心理学
		森 丈弓 (54) <令和7年4月> 博士(文学)	心理学基礎セミナーⅠ 心理学基礎セミナーⅡ 心理学プロジェクト実践Ⅰ 心理学プロジェクト実践Ⅱ 心理学プロジェクト実践Ⅲ 心理学プロジェクト実践Ⅳ 公認心理師の職責 司法・犯罪心理学 心理演習 心理実習Ⅱ 心理実習Ⅲ
基 (主 専)	教授	山田 尚子 (61) <令和7年4月> 博士(心理学)	心理学プロジェクト実践Ⅰ 心理学プロジェクト実践Ⅱ 心理学プロジェクト実践Ⅲ 心理学プロジェクト実践Ⅳ 公認心理師の職責 心理的アセスメント 心理実習Ⅱ 心理実習Ⅲ 暮らしのなかの心理学※ 感情・人格心理学

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
基 (主 専)	教授	卯月 研次 (55) <令和7年4月> 修士(心理学)	心理学基礎セミナーⅠ 心理学基礎セミナーⅡ 心理学応用セミナーⅠ 教育・学校心理学 心理実習Ⅰ 心理実習Ⅱ 心理実習Ⅲ コミュニケーション実践
		垂澤 由美子 (50) <令和7年4月> 博士(心理学)	心理学統計法(基礎) 心理学基礎セミナーⅠ 心理学基礎セミナーⅡ 心理学応用セミナーⅡ 心理学プロジェクト実践Ⅰ 心理学プロジェクト実践Ⅱ 心理学プロジェクト実践Ⅲ 心理学プロジェクト実践Ⅳ キャリア・マネジメント入門 グループ・ダイナミクス
基 (主 専)	教授	晶山 美穂 (52) <令和7年4月> 博士(心理学)	心理学プロジェクト実践Ⅰ 心理学プロジェクト実践Ⅱ 心理学プロジェクト実践Ⅲ 心理学プロジェクト実践Ⅳ 公認心理師の職責 臨床心理学概論 心理演習 心理実習Ⅰ 心理実習Ⅱ 心理実習Ⅲ 発達心理学
		森 丈弓 (54) <令和7年4月> 博士(文学)	心理学基礎セミナーⅠ 心理学基礎セミナーⅡ 心理学プロジェクト実践Ⅰ 心理学プロジェクト実践Ⅱ 心理学プロジェクト実践Ⅲ 心理学プロジェクト実践Ⅳ 公認心理師の職責 司法・犯罪心理学 心理演習 心理実習Ⅱ 心理実習Ⅲ
基 (主 専)	教授	山田 尚子 (61) <令和7年4月> 博士(心理学)	心理学プロジェクト実践Ⅰ 心理学プロジェクト実践Ⅱ 心理学プロジェクト実践Ⅲ 心理学プロジェクト実践Ⅳ 公認心理師の職責 心理的アセスメント 心理実習Ⅱ 心理実習Ⅲ 暮らしのなかの心理学※ 感情・人格心理学

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名 酒井 貴庸 (46) <令和7年4月> 修士(臨床心理学)
基 (主 専)	准教授	心理学基礎セミナーⅠ 心理学基礎セミナーⅡ 心理学応用セミナーⅠ 心理学応用セミナーⅡ 心理学プロジェクト実践Ⅰ 心理学プロジェクト実践Ⅱ 心理学プロジェクト実践Ⅲ 心理学プロジェクト実践Ⅳ 公認心理師の職責 障害者・障害児心理学 心理演習 心理実習Ⅰ 心理実習Ⅱ 心理実習Ⅲ
		星野 貴俊 (47) <令和7年4月> 博士(学術)
基 (主 専)	准教授	心理学統計法(基礎) 心理調査概論 心理学基礎セミナーⅠ 心理学基礎セミナーⅡ 心理学統計法(応用) 心理学統計法(発展) 知覚・認知心理学 心理プログラミング・AI演習 社会のなかの認知心理学
		松下 正輝 (42) <令和7年4月> 博士(医学)
基 (主 専)	准教授	心理学基礎セミナーⅠ 心理学基礎セミナーⅡ 心理学応用セミナーⅠ 心理学応用セミナーⅡ 心理学プロジェクト実践Ⅰ 心理学プロジェクト実践Ⅱ 心理学プロジェクト実践Ⅲ 心理学プロジェクト実践Ⅳ 公認心理師の職責 健康・医療心理学 心理学のための英語 心理演習 心理実習Ⅱ 心理実習Ⅲ 暮らしのなかの心理学※
		安井 知己 (50) <令和7年4月> 修士(心理学)
基 (主 専)	准教授	心理学概論 心理学基礎セミナーⅠ 心理学基礎セミナーⅡ 心理学応用セミナーⅠ 心理学応用セミナーⅡ 心理学プロジェクト実践Ⅰ 心理学プロジェクト実践Ⅱ 心理学プロジェクト実践Ⅲ 心理学プロジェクト実践Ⅳ 心理的アセスメント 心理演習 心理実習Ⅰ 暮らしのなかの心理学※
		浅野 恭子 (62) <令和7年4月> 修士(家政学)
その他	准教授	心理学プロジェクト実践Ⅰ 心理学プロジェクト実践Ⅱ 心理学プロジェクト実践Ⅲ 心理学プロジェクト実践Ⅳ 心理学的支援法 女性のためのリスクマネジメント コミュニケーション実践 人間関係論

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名 酒井 貴庸 (46) <令和7年4月> 修士(臨床心理学)
基 (主 専)	准教授	心理学基礎セミナーⅠ 心理学基礎セミナーⅡ 心理学応用セミナーⅠ 心理学応用セミナーⅡ 心理学プロジェクト実践Ⅰ 心理学プロジェクト実践Ⅱ 心理学プロジェクト実践Ⅲ 心理学プロジェクト実践Ⅳ 公認心理師の職責 障害者・障害児心理学 心理演習 心理実習Ⅰ 心理実習Ⅱ 心理実習Ⅲ
		星野 貴俊 (47) <令和7年4月> 博士(学術)
基 (主 専)	准教授	心理学統計法(基礎) 心理調査概論 心理学基礎セミナーⅠ 心理学基礎セミナーⅡ 心理学統計法(応用) 心理学統計法(発展) 知覚・認知心理学 心理プログラミング・AI演習 社会のなかの認知心理学
		松下 正輝 (42) <令和7年4月> 博士(医学)
基 (主 専)	准教授	心理学基礎セミナーⅠ 心理学基礎セミナーⅡ 心理学応用セミナーⅠ 心理学応用セミナーⅡ 心理学プロジェクト実践Ⅰ 心理学プロジェクト実践Ⅱ 心理学プロジェクト実践Ⅲ 心理学プロジェクト実践Ⅳ 公認心理師の職責 健康・医療心理学 心理学のための英語 心理演習 心理実習Ⅱ 心理実習Ⅲ 暮らしのなかの心理学※
		安井 知己 (50) <令和7年4月> 修士(心理学)
基 (主 専)	准教授	心理学概論 心理学基礎セミナーⅠ 心理学基礎セミナーⅡ 心理学応用セミナーⅠ 心理学応用セミナーⅡ 心理学プロジェクト実践Ⅰ 心理学プロジェクト実践Ⅱ 心理学プロジェクト実践Ⅲ 心理学プロジェクト実践Ⅳ 心理的アセスメント 心理演習 心理実習Ⅰ 暮らしのなかの心理学※ 心理学実験
		浅野 恭子 (62) <令和7年4月> 修士(家政学)
基 (主 専)	准教授	心理学プロジェクト実践Ⅰ 心理学プロジェクト実践Ⅱ 心理学プロジェクト実践Ⅲ 心理学プロジェクト実践Ⅳ 心理学的支援法 女性のためのリスクマネジメント コミュニケーション実践

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
基 (主 尊)	講師	大北 碧 (38) <令和7年4月> 博士(学術)
	講師	心理学実験 心理学研究法 心理学基礎セミナーⅠ 心理学基礎セミナーⅡ 心理学応用セミナーⅠ 心理学応用セミナーⅡ 心理学プロジェクト実践Ⅰ 心理学プロジェクト実践Ⅱ 心理学プロジェクト実践Ⅲ 心理学プロジェクト実践Ⅳ 学習・言語心理学 心理プログラミング・AI演習 動物の心理学
その他	教授	中尾 和久 (66) <令和7年4月> 博士(医学)
	教授	公認心理師の職責 精神疾患とその治療 心理実習Ⅱ 心理実習Ⅲ
その他	助教	竹谷 怜子 (37) <令和8年4月> 修士(心理科学)
	助教	心理実習Ⅰ 心理実習Ⅱ 心理実習Ⅲ
その他	講師	木場 律志 (39) <令和7年4月> 博士(医学)
	講師	公認心理師の職責 心理演習 心理実習Ⅰ 心理実習Ⅱ 心理実習Ⅲ
その他	教授	佐伯 勇 (56) <令和7年4月> 博士(工学)
	教授	大学を知る リーダーシップ入門 リーダーシップ基礎 他者のリーダーシップ開発Ⅰ 他者のリーダーシップ開発Ⅱ 他者のリーダーシップ開発Ⅲ 他者のリーダーシップ開発Ⅳ アクションラーニング演習 海外演習A 海外演習B 海外演習C 海外演習D 海外演習E 海外演習F
その他	教授	原田 隆司 (67) <令和7年4月> 文学修士
	教授	社会学概論
その他	教授	高橋 真央 (48) <令和7年4月> 博士(人間科学)
	教授	ボランティア論
その他	教授	米田 明美 (70) <令和7年4月> 博士(国文学)
	教授	日本古典文学入門
その他	教授	松村 俊和 (51) <令和7年4月> 博士(理学)
	教授	生態学入門 自然環境学入門
その他	教授	川村 千恵子 (59) <令和7年4月> 博士(学術)
	教授	女性の生涯と健康

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
基 (主 尊)	講師	大北 碧 (38) <令和7年4月> 博士(学術)
	講師	心理学実験 心理学研究法 心理学基礎セミナーⅠ 心理学基礎セミナーⅡ 心理学応用セミナーⅠ 心理学応用セミナーⅡ 心理学プロジェクト実践Ⅰ 心理学プロジェクト実践Ⅱ 心理学プロジェクト実践Ⅲ 心理学プロジェクト実践Ⅳ 学習・言語心理学 心理プログラミング・AI演習 動物の心理学
その他	教授	中尾 和久 (66) <令和7年4月> 博士(医学)
	教授	公認心理師の職責 精神疾患とその治療 心理実習Ⅱ 心理実習Ⅲ
その他	助教	竹谷 怜子 (37) <令和8年4月> 修士(心理科学)
	助教	心理実習Ⅰ 心理実習Ⅱ 心理実習Ⅲ
その他	講師	木場 律志 (39) <令和7年4月> 博士(医学)
	講師	公認心理師の職責 心理演習 心理実習Ⅰ 心理実習Ⅱ 心理実習Ⅲ
その他	教授	佐伯 勇 (56) <令和7年4月> 博士(工学)
	教授	リーダーシップ入門 リーダーシップ基礎 他者のリーダーシップ開発Ⅰ 他者のリーダーシップ開発Ⅱ 他者のリーダーシップ開発Ⅲ 他者のリーダーシップ開発Ⅳ アクションラーニング演習 海外演習A 海外演習B 海外演習C 海外演習D 海外演習E 海外演習F
その他	教授	原田 隆司 (67) <令和7年4月> 文学修士
	教授	社会学概論
その他	教授	高橋 真央 (48) <令和7年4月> 博士(人間科学)
	教授	ボランティア論
その他	教授	米田 明美 (70) <令和7年4月> 博士(国文学)
	教授	日本古典文学入門
その他	教授	松村 俊和 (51) <令和7年4月> 博士(理学)
	教授	生態学入門 自然環境学入門
その他	教授	川村 千恵子 (59) <令和7年4月> 博士(学術)
	教授	女性の生涯と健康

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	井上 由里 (60) <令和7年4月> 博士(保健学)
		リハビリテーション入門
その他	教授	佐藤 毅彦 (68) <令和8年4月> 教育学修士
		図書館概論 図書館制度・経営論 図書館サービス概論 情報サービス論 情報サービス演習Ⅰ 図書館情報資源概論 情報資源組織演習Ⅰ 図書館基礎特論 図書・図書館史 図書館施設論
その他	教授	山本 綾子 (52) <令和7年4月> 博士(保健学)
		女性と運動
その他	教授	郡 俊之 (58) <令和7年4月> 博士(栄養学)
		女性のための栄養学
その他	教授	信時 哲郎 (61) <令和7年4月> 修士(文学)
		女子学
その他	教授	Stephan Hamilton Brown (67) <令和7年4月> Master of Arts (米国)
		海外学習マネジメント
その他	教授	森田 浩一 (62) <令和7年4月> 文学修士
		中国語Ⅰ
その他	教授	湯浅 章子 (67) <令和7年4月> 博士(学術)
		マレー・インドネシア語Ⅰ マレー・インドネシア語Ⅱ
その他	教授	山本 存 (63) <令和7年4月> 教育学修士
		健康・スポーツ科学実習A 健康・スポーツ科学実習B 健康・スポーツ科学実習D レクリエーション実習
その他	准教授	永田 昌美 (55) <令和7年4月> 准学士
		健康に生きる
その他	准教授	根来 麻子 (44) <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックスキルズ
その他	准教授	鴨下 ひろみ (61) <令和7年4月> 博士(文学)
		現代アジア事情

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	井上 由里 (60) <令和7年4月> 博士(保健学)
		リハビリテーション入門
その他	教授	佐藤 毅彦 (68) <令和8年4月> 教育学修士
		図書館概論 図書館制度・経営論 図書館サービス概論 情報サービス論 情報サービス演習Ⅰ 図書館情報資源概論 情報資源組織演習Ⅰ 図書館基礎特論 図書・図書館史 図書館施設論
その他	教授	山本 綾子 (52) <令和7年4月> 博士(保健学)
		女性と運動
その他	教授	郡 俊之 (58) <令和7年4月> 博士(栄養学)
		女性のための栄養学
その他	教授	信時 哲郎 (61) <令和7年4月> 修士(文学)
		女子学
その他	教授	Stephan Hamilton Brown (67) <令和7年4月> Master of Arts (米国)
		海外学習マネジメント
その他	教授	森田 浩一 (62) <令和7年4月> 文学修士
		中国語Ⅰ
その他	教授	湯浅 章子 (67) <令和7年4月> 博士(学術)
		マレー・インドネシア語Ⅰ マレー・インドネシア語Ⅱ
その他	教授	山本 存 (63) <令和7年4月> 教育学修士
		健康・スポーツ科学実習A 健康・スポーツ科学実習B 健康・スポーツ科学実習D レクリエーション実習
その他	准教授	永田 昌美 (55) <令和7年4月> 准学士
		健康に生きる
その他	准教授	根来 麻子 (44) <令和7年4月> 博士(文学)
		日本語リテラシーⅠ 日本語リテラシーⅡ
その他	准教授	鴨下 ひろみ (61) <令和7年4月> 博士(文学)
		現代アジア事情

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
その他	准教授	山下 香 (50) <令和7年4月> Architecte D. P. L. G(仏国)	その他	山下 香 (50) <令和7年4月> Architecte D. P. L. G(仏国)
		メディア表現入門		メディア表現入門
その他	准教授	相澤 亮太郎 (47) <令和8年4月> 博士(学術)	その他	相澤 亮太郎 (47) <令和8年4月> 博士(学術)
		子ども・子育て入門 人文地理学		子ども・子育て入門 人文地理学
その他	准教授	脇坂 豊美 (52) <令和7年4月> 修士(看護学)	その他	脇坂 豊美 (52) <令和7年4月> 修士(看護学)
		看護学の世界		看護学の世界
その他	准教授	林 照子 (57) <令和7年4月> 修士(教育学)	その他	林 照子 (57) <令和7年4月> 修士(教育学)
		保健概論		保健概論
その他	准教授	永野 均 (52) <令和7年4月> 修士(経営学・MBA)	その他	永野 均 (52) <令和7年4月> 修士(経営学・MBA)
		現代ヨーロッパ事情 キャリアのための時事問題		現代ヨーロッパ事情 キャリアのための時事問題
その他	准教授	谷口 重徳 (57) <令和7年4月> 修士(社会学)		
		ホスピタリティ入門		
その他	准教授		その他	神村 正巳 (55) <令和7年4月> 修士(政策学)
				ホスピタリティ入門
その他	講師	永井 敦子 (52) <令和7年4月> 博士(文学)	その他	永井 敦子 (52) <令和7年4月> 博士(文学)
		日本語リテラシーⅠ 日本語リテラシーⅡ 日本近代文学入門		日本近代文学入門
その他	講師	中山 公子 (56) <令和8年4月> 修士(文学)	その他	中山 公子 (56) <令和8年4月> 修士(文学)
		美術史概説 博物館概論 博物館実習 博物館資料保存論		美術史概説 博物館概論 博物館実習 博物館資料保存論
その他	講師	橋本 一美 (69) <令和7年4月> 文学修士		
		英語Ⅰ 英語Ⅱ		
その他	講師	松永 亮太 (33) <令和8年4月> 修士(文化財)	その他	松永 亮太 (33) <令和8年4月> 修士(文化財)
		博物館資料論 博物館教育論 博物館実習 博物館情報・メディア論 博物館経営論 博物館展示論		博物館資料論 博物館教育論 博物館実習 博物館情報・メディア論 博物館経営論 博物館展示論
その他	講師	稲葉 卓 (27) <令和7年4月> 修士(言語文化学)	その他	稲葉 卓 (27) <令和7年4月> 修士(言語文化学)
		言語学入門 社会言語学入門		言語学入門 社会言語学入門
その他	講師	武部 智子 (65) <令和7年4月> 修士(文学)	その他	武部 智子 (65) <令和7年4月> 修士(文学)
		アカデミックスキルズ キャリアのための日本語		アカデミックスキルズ キャリアのための日本語

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
その他	講師	担当授業科目名 山上 登志美 (60) <令和7年4月> 博士(文学)	その他	講師	担当授業科目名 山上 登志美 (60) <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックスキルズ キャリアのための日本語			アカデミックスキルズ 日本古典文学入門 キャリアのための日本語
			その他	講師	高寺 直子 (49) <令和7年4月> 修士(文学)
					アカデミックスキルズ
その他	講師	東条 佳奈 (40) <令和7年4月> 博士(文学)	その他	講師	東条 佳奈 (40) <令和7年4月> 博士(文学)
		グループ討論トレーニング			グループ討論トレーニング
その他	講師	大畑 浩志 (33) <令和8年4月> 修士(哲学)	その他	講師	大畑 浩志 (33) <令和8年4月> 修士(哲学)
		思考カトレーニング			思考カトレーニング
その他	講師	桑原 英之 (47) <令和7年4月> 修士(文学)	その他	講師	桑原 英之 (47) <令和7年4月> 修士(文学)
		哲学入門			哲学入門
その他	講師	浅野 貴彦 (50) <令和7年4月> 博士(哲学)	その他	講師	浅野 貴彦 (50) <令和7年4月> 博士(哲学)
		倫理学入門			倫理学入門
その他	講師	寺田 憲弘 (55) <令和7年4月> 修士(社会学)	その他	講師	寺田 憲弘 (55) <令和7年4月> 修士(社会学)
		宗教学入門			宗教学入門
その他	講師	木村 朱晶 (49) <令和7年4月> 修士(文学)	その他	講師	木村 朱晶 (49) <令和7年4月> 修士(文学)
		日本文化史			日本文化史
その他	講師	三浦 俊介 (69) <令和8年4月> 博士(文学)	その他	講師	三浦 俊介 (69) <令和8年4月> 博士(文学)
		民俗学概論			民俗学概論
その他	講師	高木 康裕 (39) <令和8年4月> 修士(文学)	その他	講師	高木 康裕 (39) <令和8年4月> 修士(文学)
		考古学概論			考古学概論
その他	講師	渡部 陽子 (43) <令和8年4月> 修士(文学)	その他	講師	渡部 陽子 (43) <令和8年4月> 修士(文学)
		日本史概説			日本史概説
その他	講師	久保 利永子 (56) <令和9年4月> 博士(人間・環境学)	その他	講師	久保 利永子 (56) <令和9年4月> 博士(人間・環境学)
		外国史概説			外国史概説
その他	講師	外木 央晃 (46) <令和7年4月> 修士(法学)	その他	講師	外木 央晃 (46) <令和7年4月> 修士(法学)
		日本国憲法 法学概論			日本国憲法 法学概論
その他	講師	成 鎮宇 (37) <令和7年4月> 博士(法学)			
		政治学概論			

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	永廣 顕 (61) <令和7年4月> 経済学修士
		経済学概論
その他	講師	比嘉 康則 (43) <令和7年4月> 修士(人間科学)
		人権教育
その他	講師	中谷 和人 (43) <令和7年4月> 修士(人間・環境学)
		文化人類学入門
その他	講師	田畑 暁生 (60) <令和8年4月> 修士(社会学)
		AIとライフデザイン
その他	講師	本多 忠紀 (69) <令和7年4月> 理学修士
		生物学の基礎 生化学の基礎 生命科学入門 地球環境論
その他	講師	深江 亮平 (69) <令和7年4月> 博士(工学)
		化学の基礎
その他	講師	小森 武陸 (53) <令和7年4月> 修士(スポーツ科学)
		物理学の基礎
その他	講師	倉橋 太志 (39) <令和7年4月> 博士(学術)
		数学の基礎
その他	講師	午道 青歩 (30) <令和7年4月> 修士(心理学)
		統計学の基礎 社会・集団・家族心理学
その他	講師	高田 将志 (66) <令和8年4月> 理学修士
		自然地理学
その他	講師	荒木 菜穂 (47) <令和7年4月> 博士(学術)
		ジェンダー論入門 女性と家族 女性と社会・仕事
その他	講師	小山 有子 (51) <令和7年4月> 博士(文学)
		女性の歴史

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	角 正美 (33) <令和7年4月> 博士(法学)
		政治学概論
その他	講師	永廣 顕 (61) <令和7年4月> 経済学修士
		経済学概論
その他	講師	比嘉 康則 (43) <令和7年4月> 修士(人間科学)
		人権教育
その他	講師	中谷 和人 (43) <令和7年4月> 修士(人間・環境学)
		文化人類学入門
その他	講師	田畑 暁生 (60) <令和8年4月> 修士(社会学)
		AIとライフデザイン
その他	講師	本多 忠紀 (69) <令和7年4月> 理学修士
		生物学の基礎 生化学の基礎 生命科学入門 地球環境論
その他	講師	深江 亮平 (69) <令和7年4月> 博士(工学)
		化学の基礎
その他	講師	小森 武陸 (53) <令和7年4月> 修士(スポーツ科学)
		物理学の基礎
その他	講師	倉橋 太志 (39) <令和7年4月> 博士(学術)
		数学の基礎
その他	講師	午道 青歩 (30) <令和7年4月> 修士(心理学)
		統計学の基礎 社会・集団・家族心理学
その他	講師	高田 将志 (66) <令和8年4月> 理学修士
		自然地理学
その他	講師	荒木 菜穂 (47) <令和7年4月> 博士(学術)
		ジェンダー論入門 女性と家族 女性と社会・仕事
その他	講師	
その他	講師	佐伯 綾那 (44) <令和7年4月> 博士(文学)
		女性の歴史

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	上埜 真知子 (60) <令和7年4月> 心理学修士
		女性とコミュニケーション 産業・組織心理学
その他	講師	松田 いりあ (53) <令和8年4月> 博士(学術)
		国際社会とジェンダー
その他	講師	仲尾 友貴恵 (39) <令和8年4月> 博士(文学)
		女性と身体
その他	講師	中村 衣里 (52) <令和8年4月> 法務博士(専門職)
		女性のための法律
その他	講師	波部 雄一郎 (47) <令和7年4月> 博士(歴史学)
		ヨーロッパの文化
その他	講師	朴 榮三 (51) <令和7年4月> 博士(人間科学)
		アジアの文化
その他	講師	藤田 渡 (53) <令和7年4月> 博士(人間・環境学)
		グローバル社会論
その他	講師	桑田 博之 (55) <令和7年4月> 修士(油画)
		造形芸術(絵画) 造形芸術(彫刻)
その他	講師	太田 務 (62) <令和7年4月> Doctor of Musical Arts(米国)
		音楽の基礎 合唱音楽
その他	講師	近藤 秀樹 (59) <令和7年4月> 博士(文学)
		音楽鑑賞A 音楽鑑賞B
その他	講師	土橋 薫 (68) <令和7年4月> 芸術学修士
		オルガン音楽(構造) オルガン音楽(器楽) オルガン音楽演習
その他	講師	東野 真紀 (57) <令和8年4月> 博士(芸術文化学)
		日本の文化(茶道) 日本の文化(華道)
その他	講師	長井 裕司 (54) <令和7年4月> 学士(心理学)
		キャリアデザイン I
その他	講師	工藤 久志 (35) <令和7年4月> 学士(人間科学)
		キャリアデザイン I

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	上埜 真知子 (60) <令和7年4月> 心理学修士
		女性とコミュニケーション 産業・組織心理学
その他	講師	松田 いりあ (53) <令和8年4月> 博士(学術)
		国際社会とジェンダー
その他	講師	仲尾 友貴恵 (39) <令和8年4月> 博士(文学)
		女性と身体
その他	講師	中村 衣里 (52) <令和8年4月> 法務博士(専門職)
		女性のための法律
その他	講師	波部 雄一郎 (47) <令和7年4月> 博士(歴史学)
		ヨーロッパの文化
その他	講師	朴 榮三 (51) <令和7年4月> 博士(人間科学)
		アジアの文化
その他	講師	藤田 渡 (53) <令和7年4月> 博士(人間・環境学)
		グローバル社会論
その他	講師	桑田 博之 (55) <令和7年4月> 修士(油画)
		造形芸術(絵画) 造形芸術(彫刻)
その他	講師	太田 務 (62) <令和7年4月> Doctor of Musical Arts(米国)
		音楽の基礎 合唱音楽
その他	講師	近藤 秀樹 (59) <令和7年4月> 博士(文学)
		音楽鑑賞
その他	講師	
その他	講師	東野 真紀 (57) <令和8年4月> 博士(芸術文化学)
		日本の文化(茶道) 日本の文化(華道)
その他	講師	
その他	講師	工藤 久志 (35) <令和7年4月> 学士(人間科学)
		キャリアデザイン I

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	水野 武 (52) <令和8年4月> 博士(政策科学)
		キャリアデザインⅡ
その他	講師	津村 忠 (63) <令和7年4月> 学士(社会学)
		キャリアのための数学(ベーシック) キャリアのための数学(スタンダード)
その他	講師	D. Bodner (62) <令和7年4月> M. Ed. (米国)
		英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ
その他	講師	B. Plett (62) <令和7年4月> M. Ed. TESOL (米国)
		英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ
その他	講師	M. Salovaara (63) <令和7年4月> MA TESOL (英国)
		英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ
その他	講師	山本 由美子 (62) <令和7年4月> 文学修士
		英語Ⅰ 英語Ⅱ
その他	講師	徳久 久美子 (59) <令和7年4月> 文学修士
		英語Ⅰ 英語Ⅱ
その他	講師	平田 真理 (60) <令和7年4月> 文学修士
		英語Ⅰ 英語Ⅱ
その他	講師	全 敏紀 (46) <令和7年4月> 修士(言語文化学)
		韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ
その他	講師	山下 一美 (49) <令和7年4月> 修士(教育学)
		韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	水野 武 (52) <令和8年4月> 博士(政策科学)
		キャリアデザインⅡ
その他	講師	津村 忠 (63) <令和7年4月> 学士(社会学)
		キャリアのための数学(ベーシック) キャリアのための数学(スタンダード)
その他	講師	B. Plett (62) <令和7年4月> M. Ed. TESOL (米国)
		English Communication I English Communication II
その他	准教授	A. Eglinton (47) <令和7年4月> Master of Arts(英国)
		English Communication I English Communication II
その他	講師	A. Rivers (42) <令和7年4月> 博士(化学)
		English Communication I English Communication II
その他	講師	C. Johnston (47) <令和7年4月> Master of Education
		English Communication I English Communication II
その他	講師	M. M. Parrish (58) <令和7年4月> Master of Arts(米国)
		English Communication I English Communication II
その他	講師	全 敏紀 (46) <令和7年4月> 修士(言語文化学)
		韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ
その他	講師	山下 一美 (49) <令和7年4月> 修士(教育学)
		韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	張 静敏 (62) <令和7年4月> 博士(文学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
その他	講師	市成 直子 (66) <令和7年4月> 文学博士
		中国語Ⅱ
その他	講師	堀田 陽子 (64) <令和7年4月> 准学士
		情報とコンピュータⅠ 情報とコンピュータⅡ
その他	講師	向井 由美子 (57) <令和7年4月> 家政学士
		情報とコンピュータⅠ 情報とコンピュータⅡ
その他	講師	小西 泰美 (54) <令和7年4月> 学士(経済学)
		情報とコンピュータⅠ 情報とコンピュータⅡ
その他	講師	宇佐美 美紀子 (55) <令和8年4月> 修士(学校教育学)
		コンピュータと社会
その他	講師	米田 真里 (56) <令和8年4月> 学士(哲学)
		情報メディア実習
その他	講師	田中 敦子 (59) <令和8年4月> 文学士
		ビジネス情報実習
その他	講師	荒井 美穂子 (49) <令和7年4月> 学士
		手話コミュニケーション
その他	講師	豊島 絵美子 (58) <令和7年4月> 学士
		手話コミュニケーション
その他	講師	高岸 知子 (59) <令和7年4月> 専門士専門学校卒
		ノートテイクの方法
その他	講師	三浦 敬太 (31) <令和8年4月> 修士(学術)
		生涯スポーツの科学

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	張 静敏 (62) <令和7年4月> 博士(文学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
その他	講師	市成 直子 (66) <令和7年4月> 文学博士
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
その他	講師	堀田 陽子 (64) <令和7年4月> 准学士
		情報とコンピュータⅠ 情報とコンピュータⅡ
その他	講師	向井 由美子 (57) <令和7年4月> 家政学士
		情報とコンピュータⅠ 情報とコンピュータⅡ
その他	講師	濱本 季之 (62) <令和7年4月> 学士(社会学)
		情報とコンピュータⅠ 情報とコンピュータⅡ
その他	講師	宇佐美 美紀子 (55) <令和8年4月> 修士(学校教育学)
		コンピュータと社会
その他	講師	米田 真里 (56) <令和8年4月> 学士(哲学)
		情報メディア実習
その他	講師	田中 敦子 (59) <令和8年4月> 文学士
		ビジネス情報実習
その他	講師	荒井 美穂子 (49) <令和7年4月> 学士
		手話コミュニケーション
その他	講師	上吉川 佳代 (47) <令和7年4月> 学士
		手話コミュニケーション
その他	講師	高岸 知子 (59) <令和7年4月> 専門士専門学校卒
		ノートテイクの方法
その他	講師	三浦 敬太 (31) <令和8年4月> 修士(学術)
		生涯スポーツの科学

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	弘原海 剛 (64) <令和8年4月> 博士(学術)
		トレーニングの科学
その他	講師	藤本 季朱子 (62) <令和7年4月> 学士(体育学)
		健康・スポーツ科学実習 A 健康・スポーツ科学実習 B 健康・スポーツ科学実習 C 健康・スポーツ科学実習 D
その他	講師	谷 芳恵 (44) <令和7年4月> 博士(学術)
		心理学統計法(基礎)
その他	講師	安岡 晶子 (42) <令和7年4月> 博士(人間科学)
		心理学実験 心理学統計法(応用)
その他	講師	村上 幸史 (53) <令和7年4月> 博士(人間科学)
		心理学統計法(基礎)
その他	講師	西岡 美和 (52) <令和7年4月> 修士(心理学)
		心理学実験
その他	講師	東 由佳 (49) <令和7年4月> 修士(心理学)
		心理学実験
その他	講師	尾藤 昭夫 (65) <令和7年4月> 文学修士
		心理学実験
その他	講師	浦山 郁 (30) <令和8年4月> 修士(学術)
		心理学統計法(応用)
その他	講師	畠山 寛 (55) <令和9年4月> 博士(教育学)
		心理学統計法(発展)
その他	講師	高木 麻未 (47) <令和9年4月> 博士(社会学)
		心理学統計法(発展)
その他	講師	岸本 直子 (43) <令和9年4月> 博士(医学)
		子ども理解の臨床心理学
その他	講師	高橋 良幸 (45) <令和9年4月> 博士(心理学)
		神経・生理心理学
その他	講師	南川 聡美 (43) <令和9年4月> 修士(学校教育学)
		福祉心理学

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	弘原海 剛 (64) <令和8年4月> 博士(学術)
		トレーニングの科学
その他	講師	藤本 季朱子 (62) <令和7年4月> 学士(体育学)
		健康・スポーツ科学実習 A 健康・スポーツ科学実習 B 健康・スポーツ科学実習 C 健康・スポーツ科学実習 D
その他	講師	谷 芳恵 (44) <令和7年4月> 博士(学術)
		心理学統計法(基礎)
その他	講師	安岡 晶子 (42) <令和7年4月> 博士(人間科学)
		心理学実験 心理学統計法(応用)
その他	講師	村上 幸史 (53) <令和7年4月> 博士(人間科学)
		人間関係論 心理学統計法(基礎)
その他	講師	西岡 美和 (52) <令和7年4月> 修士(心理学)
		心理学実験
その他	講師	東 由佳 (49) <令和7年4月> 修士(心理学)
		心理学実験
その他	講師	尾藤 昭夫 (65) <令和7年4月> 文学修士
		心理学実験
その他	講師	浦山 郁 (30) <令和8年4月> 修士(学術)
		心理学統計法(応用)
その他	講師	畠山 寛 (55) <令和9年4月> 博士(教育学)
		心理学統計法(発展)
その他	講師	高木 麻未 (47) <令和9年4月> 博士(社会学)
		心理学統計法(発展)
その他	講師	岸本 直子 (43) <令和9年4月> 博士(医学)
		子ども理解の臨床心理学
その他	講師	高橋 良幸 (45) <令和9年4月> 博士(心理学)
		神経・生理心理学
その他	講師	南川 聡美 (43) <令和9年4月> 修士(学校教育学)
		福祉心理学

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
その他	講師	山添 光芳 (66) <令和9年4月> 医学博士	講師	山添 光芳 (66) <令和9年4月> 医学博士
		人体の構造と機能及び疾病		人体の構造と機能及び疾病
その他	講師	日吉 祐一 (50) <令和8年4月> 修士(法学)	講師	日吉 祐一 (50) <令和8年4月> 修士(法学)
		関係行政論		関係行政論
その他	講師	田村 俊明 (63) <令和9年4月> 知的財産修士(専門職)	講師	田村 俊明 (63) <令和9年4月> 知的財産修士(専門職)
		図書館情報技術論 情報資源組織演習Ⅱ		図書館情報技術論 情報資源組織演習Ⅱ
その他	講師	佐々木 美緒 (47) <令和9年4月> 文化政策(修士)	講師	佐々木 美緒 (47) <令和9年4月> 文化政策(修士)
		児童サービス論		児童サービス論
その他	講師	川原 亜希世 (58) <令和9年4月> 修士(図書館情報学)	講師	川原 亜希世 (58) <令和9年4月> 修士(図書館情報学)
		情報サービス演習Ⅱ		情報サービス演習Ⅱ
その他	講師	谷本 達哉 (64) <令和9年4月> 博士(図書館情報学)	講師	谷本 達哉 (64) <令和9年4月> 博士(図書館情報学)
		情報資源組織論		情報資源組織論
その他	講師	小松 泰信 (70) <令和9年4月> 学術修士	講師	小松 泰信 (70) <令和9年4月> 学術修士
		図書館サービス特論 図書館情報資源特論		図書館サービス特論 図書館情報資源特論
その他	講師	鈴木 隆 (66) <令和8年4月> 国際関係学修士	講師	鈴木 隆 (66) <令和8年4月> 国際関係学修士
		消費者心理と広告		消費者心理と広告

(注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)(その2の2)(その2の3)に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時には設置認可時又は届出時の教員全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、)その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の清年齢**を記入してください。
- ・ 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」(改正後大学設置基準等の適用以前は「専任教員区分」)の順に記入してください。
- ・ 教員がサビカル等で不在の期間がある場合、その期間(年月日)を上段「学位」の下へ記入してください。
- ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和7年度】

【専任教員】

- ・ 卯月研次教授の就任予定年月を「令和8年4月」から「令和7年4月」へ変更。
- ・ 浅野恭子准教授の教員区分を「その他」から「基幹(専任)」へ変更。

【大学共通科目】

- ・ 「大学を知る」をカリキュラム改正のため廃止。そのため佐伯勇教授を担当から削除。
- ・ 「アカデミックスキルズ」から根来麻子准教授を担当から削除し、高寺直子講師を担当に追加。
- ・ 「日本語リテラシーⅠ」を永井敦子講師から根来麻子准教授へ担当変更。
- ・ 「日本語リテラシーⅡ」を永井敦子講師から根来麻子准教授へ担当変更。
- ・ 「日本古典文学入門」を米田明美教授から山上登志美講師へ担当変更。
- ・ 「人間関係論」を浅野恭子准教授から村上幸史講師へ担当変更。
- ・ 「政治学概論」を成鏡宇講師から角正美講師に担当変更。
- ・ 「女性の歴史」を小山有子講師から佐伯綾那講師に担当変更。
- ・ 「海外学習マネジメント」をカリキュラム改正のため廃止。そのため、Stephan Hamilton Brown教授を担当から削除。
- ・ 「音楽鑑賞A」を「音楽鑑賞」に名称を変更し、近藤秀樹講師が継続して担当。
- ・ 「音楽鑑賞B」をカリキュラム改正のため廃止。そのため近藤秀樹講師を担当から削除。
- ・ 「オルガン音楽(構造)」をカリキュラム改正のため廃止。そのため、土橋薫講師を担当から削除。
- ・ 「オルガン音楽(器楽)」をカリキュラム改正のため廃止。そのため、土橋薫講師を担当から削除。
- ・ 「オルガン音楽演習」をカリキュラム改正のため廃止。そのため、土橋薫講師を担当から削除。
- ・ 「ホスピタリティ入門」を谷口重徳准教授から神村正巳准教授に担当変更。
- ・ 「キャリアデザインⅠ」を長井裕司講師から工藤久志講師に担当変更。
- ・ 「英語会話Ⅰ」と「英語Ⅰ」を統合し、「English CommunicationⅠ」に名称変更。B.Plett講師は引き続き担当し、その他のD.Bodner講師、M.Salovaara講師、橋本一美講師、山本由美子講師、徳久久美子講師、平田真理講師を担当から削除。A.Eglinton准教授、A.Rivers講師、C.Johnston講師、M.M.Parrish講師を担当に追加。
- ・ 「英語会話Ⅱ」と「英語Ⅱ」を統合し、「English CommunicationⅡ」に名称変更。B.Plett講師は引き続き担当し、その他のD.Bodner講師、M.Salovaara講師、橋本一美講師、山本由美子講師、徳久久美子講師、平田真理講師を担当から削除。A.Eglinton准教授、A.Rivers講師、C.Johnston講師、M.M.Parrish講師を担当に追加。
- ・ 「中国語Ⅰ」から森田浩一教授を担当から削除し、市成直子講師を担当に追加。
- ・ 「情報とコンピュータⅠ」から小西泰美担当を削除し、濱本季之講師を担当に追加。
- ・ 「情報とコンピュータⅡ」から小西泰美担当を削除し、濱本季之講師を担当に追加。
- ・ 「手話コミュニケーション」から豊島絵美子講師を担当から削除し、上吉川佳代講師を担当に追加。

【専攻科目】

- ・ 「心理学実験」を垂澤由美子教授から安井知己准教授に担当変更。
- ・ 「心理学基礎セミナーⅠ」に卯月研次教授を担当に追加。
- ・ 「心理学基礎セミナーⅡ」に卯月研次教授を担当に追加。

(注)・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の基幹(専任)教員を変更する場合は**、当該基幹(専任)教員が授業を開始する前に必ず「基幹(専任)教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A・C教員審査)を受けてください。

原則としてA・C教員審査を受けずに基幹(専任)教員として授業等を担当することは出来ません。

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した

「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A・C教員審査を受審する必要はない扱いとしています。(改正後大学設置基準等の適用にあたり、

「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A・C教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、A・C教員審査を受審する必要があります

- ・ A・C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数(α)	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数(α)の4分の3以上)
10	5	8
名	名	名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
 ・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在(報告時)の状況						
教授	准教授	講師	助教	計(A)	うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計「A」)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計「B」)	助手(B')
5	4	1	0	10	10	0	5	5	1	0	11	11	0
(4)	(4)	(1)	(0)	(9)	(9)	(0)							
現在(報告時)の完成年度時の状況							現在(報告時)の完成年度時の計画						
教授	准教授	講師	助教	計(C)	うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計「C」)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計「D」)	助手(D')
5	5	1	0	11	11	0	5	5	1	0	11	11	0
[0]	[1]	[0]	[0]	[1]	[1]	[0]	[0]	[1]	[0]	[0]	[1]	[1]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者(「基一」及び「基専」の計)」として記入してください。
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画(改正前大学設置基準等)」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
 また、「計(A)」の「うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(A'))」欄には「-」を記入してください。
 ・現在(報告時)の状況には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・**現在(報告時)の完成年度時の状況には、認可で設置された学部等の場合は、現在(報告時)の状況に記入した数字に、教員審査を要済済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、現在(報告時)の状況に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、()内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)**
 ・現在(報告時)の完成年度時の計画には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、()内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{11}{10} = \boxed{110} \%$$
 【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教員研究に従事する者】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{11}{10} = \boxed{110} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		「該当なし」								
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」 |
| ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 |
| ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |

(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		「該当なし」								
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。
 （学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」 |
| ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 |
| ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{\quad} = \#DIV/0! \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

人

- (注)・(3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。
 ・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		「該当なし」								
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・ 定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

基幹教員の交代がなかったため、学生への影響はない。

(注)・ 上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。
【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。
【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）（7）」と記載してください。
【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<心理学部 心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 修了要件単位数</p> <p>全学共通科目30単位以上（基礎科目2単位以上、教養科目10単位以上、総合科目8単位以上、言語科目8単位以上、情報科目2単位以上）、自学科専攻科目から62単位以上（必修科目30単位、選択必修科目から32単位以上）、自由選択科目（全ての科目区分から自由選択）32単位以上の合計124単位以上を修得すること。（履修科目の登録の上限：48単位（年間））</p> <p>② 施設・設備</p> <p>該当なし</p>	<p>①全学共通科目の変更の為</p> <p>全学共通科目28単位以上（基礎科目4単位以上、教養科目10単位以上、総合科目8単位以上、言語科目4単位以上、情報科目2単位以上）、自学科専攻科目から62単位以上（必修科目30単位、選択必修科目から32単位以上）、自由選択科目（全ての科目区分から自由選択）32単位以上の合計124単位以上を修得すること。（履修科目の登録の上限：48単位（年間））</p> <p>② 施設・設備</p> <p>変更なし</p>

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 甲南女子大学FD委員会規程（添付資料1） <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 甲南女子大学FD委員会（年間2～3回を目途に不定期で開催） 参加教員については規程（添付資料1）で定め、やむを得ず欠席の場合は、当該教員所属の学科から代理の教員が出席することとなっている <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 甲南女子大学FD委員会 全学的な教育改善のための施策に関する事項や、教員の職能開発に関する事項 <p>② 実施状況</p> <p>【全学レベル】</p> <p>毎年度研修会を開催している。以下は令和6年度の実績。</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 合理的配慮に関するFD研修会（以下、FD研修会） 令和6年9月25日開催 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD研修会：対面形式（後日オンデマンド配信あり） <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD研修会への参加率：55.0%（欠席者は後日オンデマンド配信動画を視聴） <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD研修会：大学で定める「障害を理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応要領」に基づき、大学として対応すべき基本的事項の理解を深め、授業における配慮に活かしている。
--

【学位プログラムレベル】

毎年度学位プログラム（学科）毎にFD活動に取り組んでいる。

- a 実施内容
 - ・各学科の課題に応じて内容を設定。
- b 実施方法
 - ・研修会、授業相互見学等、学科により異なる。
- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・全専任教員が参加。
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・学科毎に、活動実績と次年度に向けた課題・計画を報告書にまとめつつ、成果を改善に活かしている。

【教員個人レベル】

自己点検を通じて、授業の振り返りと改善を行う。

- a 実施内容
 - ・担当授業の振り返りと改善。
- b 実施方法
 - ・教員への授業アンケート結果のフィードバックと、「自己点検票」の作成。
- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・授業アンケート結果のフィードバックは全授業担当教員を対象として実施。
 - ・「自己点検票」の作成は、原則として全専任教員を対象として実施（一部の要職者等を除く）
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・上記を通じて得られた課題等を踏まえ、教員個々人が授業改善に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
 - 前後期にそれぞれ中間時および学期末に実施している。（計4回）
- b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・教員：教学システムにおいて、担当科目ごとに結果を集計してフィードバックしている。
 - ・学生：授業アンケートは自由記述を中心に実施していることから、多く寄せられた意見等に対し、授業内で原則教員からフィードバックすることとしている。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

○甲南女子大学FD委員会規程

平成24年2月8日

(目的)

第1条 甲南女子大学に、建学の精神と教学の理念を踏まえ、学部学科の教育目的を達成し、教育学習効果を最大限に高めるための取組みを行うために、甲南女子大学FD委員会(以下、「委員会」という。)を設置する。

(審議事項)

第2条 委員会は、前条の目的を達成するため、次の事項を審議決定する。

- (1) 全学的な教育改善のための施策に関する事項
- (2) 教員の職能開発に関する事項
- (3) その他委員会が必要と認めた事項

(構成)

第3条 委員会は、次の者をもって構成する。

- (1) 学長が指名した委員長 1名
- (2) 各学科から選出された教員 各1名
- (3) 教務部長
- (4) 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

(委員長)

第4条 委員長は、委員会を代表し、その業務を統括する。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

(副委員長)

第5条 委員会に、必要に応じて副委員長を置くことができる。

- 2 副委員長は、第3条第2号の委員から委員長が指名する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、これを代行する。

(任期)

第6条 委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 前項の委員に欠員が生じ、補充した場合の任期は、前任者の残任期間とする。

(所管)

第7条 この規程に関する事務は、教育・研究支援課の所管とする。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、各学部教授会の議を経て大学評議会の議決による。

附 則

- 1 この規程は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 甲南女子大学FD・SD委員会規程(平成13年7月25日制定)は、廃止する。

附 則

この規程(改正)は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程(改正)は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 ワーキング・グループに関する申合せ(平成24年2月8日制定)は、廃止する。

附 則

この規程(改正)は、令和4年3月9日から施行する。

附 則

この規程(改正)は、令和5年6月21日から施行する。

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

心理学の基礎を身に付けた上で、社会や身近にある課題に気づき客観的な観察力、論理的な思考力、数量的なデータ処理能力、AI等の先進的なテクノロジー、共感性及びコミュニケーション力を活用し、その解決に向けて取り組むことができる人材を育成する。2025年度の実施状況については、開設初年度として1年生を対象に、計画していたカリキュラムに従い、授業を開講することができている。心理学全般や実験・統計の基礎を修得しつつ、「心理学基礎セミナーⅠ・Ⅱ」を通してコミュニケーション力などの実践面での素養を身に付けている。こうした基礎力をベースに、次年度以降の発展的な授業で当学科が目的とする人材育成を目指していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

公益財団法人日本高等教育評価機構による認証評価を令和4（2022）年度に受審し、令和5（2023）年に「適合」と認定された。令和5（2023）年3月に評価報告書および自己点検評価書を公表している。

b 公表方法

大学ホームページ上に公開（令和5（2023）年3月）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

令和4(2022)年度、公益財団法人日本高等教育評価機構による認証評価を受審し、適合と認定された。次回、令和11(2029)年度に同機関での受審を予定しており、大学評価委員会を組織し、準備を整えている。

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。